

JICA 留学生が熊野古道・十津川村で持続可能な観光を学ぶ！

JICA 関西は、10月9日（水）から11日（金）に和歌山県那智勝浦町と奈良県十津川村において、関西の大学院で学ぶ JICA 留学生²13 名が参加する「熊野古道・十津川村から学ぶ持続可能な観光と発展」と題したプログラムを実施します。

本プログラムは JICA 留学生を対象に、日本の地域の歴史や文化、特色等をよりよく理解してもらい、得た経験や知識を母国の発展に活かすことを目的とした「地域理解プログラム」の一環として実施するものです。

JICA 留学生が熊野古道、十津川村における持続可能な観光産業の発展に向けた取り組みを幅広く学び、将来自国の観光産業や地域づくりへ活用していくことを期待しています。

10月11日には、持続可能な観光と発展を実現するための方策について十津川村役場とのディスカッションも実施します。十津川村での JICA 留学生プログラムは今回 3 回目、過去村役場の皆様からも、留学生の多様な視点から刺激を受けたと、好評をいただいています。

以下プログラムで JICA 留学生へのインタビューや取材が可能です。ぜひご検討ください。

日付	時間	内容
10月9日(水)	14:00~17:00	熊野那智大社見学（日本の歴史・宗教や伝統的な価値観、観光を軸とした地域の発展に向けた取り組み）
10月10日(木)	9:00~9:30	瀬峡見学
	10:00~12:30	西熊野街道再生プロジェクト代表 南雅代氏 活動紹介（過疎化が進む地域での熊野古道、棚田の保護）
	14:30~17:00	空中の村代表 ジョラン・フェレリ氏 講義・施設見学（自然を活かした地域活性化の取り組み）
10月11日(金)	8:45~9:30	果無集落見学（日本の伝統的な生活や自然との共生、熊野古道の理解）
	10:00~12:00	十津川村役場とのディスカッション
	14:00~14:30	谷瀬の吊り橋見学

参加者出身国：ウズベキスタン、エジプト、キューバ、キルギス、ケニア、スリランカ、（予定） ナミビア、ネパール、バングラデシュ、ベトナム、メキシコ

※悪天候によりプログラムの中止、内容変更の可能性がございます。
※交通手段はご自身で手配願います。

取材希望の場合、10月8日(火)17時まで以下へご連絡ください。場所詳細をお伝えします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 国際協力推進員（奈良県） 福西真実
TEL: 080-8506-3718 e-mail: jicadpd-desk-naraken@jica.go.jp

¹ 奈良県十津川村は 2018 年度 SDGs 未来都市に選定され、「十津川村 SDGs 未来都市計画」を公表しており、2030 年のあるべき姿として「林業・観光業を中心に自立する村」、「知恵や技術、文化が継承される村」、「自然と共生する暮らし」を掲げています。

² 開発途上国から JICA の人材育成プログラムで来日し、日本の大学（修士課程あるいは博士課程）で学んでいる留学生。国の行政官、研究者、民間企業出身者などバックグラウンドは様々ですが、将来、国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材です。自身の専門の研究とともに、日本の歴史や文化を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。現在、関西地域の 14 の大学院でアジア、アフリカ、中南米など出身の約 250 名の JICA 留学生が学んでいます。